

UQ-KU プロジェクト～9年間の成果と今後の展開～

■DATE: 11月7日(火) 1600～1730

■VENUE: カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER) 第一研究棟・ホールC

■REGISTRATION: Asia Weekホームページ・会場受付

■LANGUAGE: 日本語

■OUTLINES:

九州大学は、オーストラリアを代表する大学の一つであるクイーンズランド大学と9年間に渡り、UQ-KUプロジェクトを実施してきました。今回は、クイーンズランド大学でカウンターパートを務める野北教授をお招きし、UQ-KUプロジェクト9年間の成果とこれからの展開について、関係者一同で議論をします。また、来年度から九大工学部とUQ工学部の間で開始される単位互換制度について、工学部の安田教授からご紹介をいただきます。

開会の挨拶 (1600～1605)

Q-AOS・清水周次 副理事



UQ-KUプロジェクトの歩み (1605～1630)

UQ・野北和宏 教授



工学部で始まる単位互換制度について (1630～1645)

工学部・安田和弘 教授

UQとの連携状況について (1645～1720)

Q-AOS・田中准教授、大学病院・工藤助教 他

閉会・写真撮影 (1720～1730)